## 事務事業評価シート

評価年度 平成30年度 対象事業年度 平成29年度

所属· 担当者氏名 企画政策部 法務情報課 法務係 岡崎 剛史 評価責任者 (担当課長) 法務情報課長 島田 康貴

## 1. 事務事業の種類

① 事務事業の名称		情報提供事業(情報公開コーナー) ② 整理番号 01030302-							
	草	自立するまちづくり							
③ 第4次総合計 画の施策の体	節	市民参画による協働のまちづくり							
系	項	市民との情報の共有							
	号	情報公開及び個人情報保護の充実							
④ 関連する個別計画		なし ⑥ 事務の種類 自治事務							
⑤ 根拠法令・条例等	等	大和高田市情報公開条例、市長が保有する公文書の開示に関する規則							

## 2. 事務事業の概要

① 目的 (何のために)	市政の公平性と透明性を確保し、市民との情報の共有化を図るため。
② 対象 (誰・何を対象として)	何人も
③ 手段 (どのようなやり方で)	①情報公開コーナーで備える閲覧資料を充実させる。 ②閲覧できる資料の名称を市ホームページに掲載する。
④ 成果 (どのような効果を得ようと しているのか)	市民が手軽に市政情報を入手できるようにすることにより、市政への参画を促進する。 積極的な情報提供により、説明責任を全うし、市民に信頼されるまちづくりを行う。

3. 投入された年間総事業費及び人件費の推移 ※概算人件費は「人件費計算シート」による (単位:千円,人)

<u> </u>	C) ( C 10/2	1.00			77 (II Q	6 · /\II		J 1-0, 0			. 1 1 3, 7 4/
		平成26年	年度	平成27	年度	平成28	年度	平成29年	<b>F</b> 度	平成	30年度
① 直接事業費			0		0		0		0	(予算)	0
② 概:	算人件費	(0.22)	1,573	(0.20)	1,389	(0.20)	1,348	(0.05)	315		
	一般職員(職員数)	(0.21)	1,552	(0.19)	1,375	(0.19)	1,334	(0.04)	294		
	嘱託職員(職員数)										
	臨時職員(職員数)	(0.01)	21	(0.01)	14	(0.01)	14	(0.01)	21		
③合計(①+②)			1,573		1,389		1,348		315		
④ 特定財源 (国・県支出金、市債など)											
⑤ 一般財源(③ - ④)			1,573		1,389		1,348		315		

4. 評価指標

種類	指標名	指標の算出方法等	実 績 値					
俚独	1日 惊 名	相保の昇山刀伝等	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度		
活動指標	閲覧資料件数(コピー枚 ① 数)	行政資料の写しの交付枚数	524 枚	494 枚	156 枚	161 枚		
10.00	2							
成果指標	閲覧者数(コピーを行った ① 者の数)	行政資料の写しの交付者数	16 人	22 人	10 人	8 人		
	2							
効率 指標	①							
	2							

5. 項目別評価

5. 項目別評価					
評価の視点	3段階 評 価	評価の根拠			
①妥当性 (目的及び市の関与は妥当ですか)	A	行政経営における市民の参画は、住民自治の原則であり、市民との 協働による行政経営をする上で、行政情報の共有化は必須である。			
②有効性 (成果は向上していますか、向上して いない場合向上のために改善の余地 はありますか)	С	予算書や事業計画の多くは市ホームページ上で公開しており、来庁 者の閲覧件数を把握するだけでは、事業の成果を把握することは困 難。別の指標を設定する必要がある。			
③効率性 (コスト・受益者負担は適切ですか、 不適切な場合改善の余地はありま すか)	A	図書館で閲覧に供する資料の見直し、財政援助的委託料の一覧作 成業務の廃止等により、人件費を削減させている。			

6. 今後の方向性 A 現状のまま継続、B 見直し(重点化、縮小、統合など)のうえ継続、C 休止、D 完了・廃止

- / DC++/3111 <u>-</u>	- 1 - 20 M to 2 - 2 - 2 - 2 - 2 - 2 - 2 - 2 - 2 - 2
判定	具体的な改善・見直しの内容(「B 見直しのうえ継続」 の場合に限る。)
	□ 人件費の重点化□ 予算の重点化 □ 事業の縮小 □事業の統合 ■実施内容の変更 □ その他
В	・ホームページ上で閲覧できる資料を充実させるほか、ホームページが検索されやすいようレイアウトの改善を図る。

7	2次評価	A 現状のまま継続、	p 目古 l	(番占化	縮小 統合など)	のうえ継続	┌ 休止	D 完了・ 廃止
/ .	<b>乙次計Ⅲ</b>	A 況1人U 未 未 11小元、			かい、かし なとし	ひょう オーボル・ボスト		

判 定	具体的な改善内容・改善計画(「B 見直しのうえ継続」の場合に限る。)